

「NPO 法人オールさこんやまの機能強化」について

1. 現状と課題

左近山団地と市沢団地は昭和 40 年代の同じ時期に開発された戸建てを含む約 5,300 戸の団地群です。一つの連合自治会エリアであり、平成 25 年に自治会を中心に地域の組織や活動団体が連携し NPO 法人「オールさこんやま」（以下「オールさこんやま」という。）が立ち上がりました。この「オールさこんやま」は多世代のための福祉を目的として、福祉・交流の拠点「ほっとさこんやま」や「おでかけワゴン」、親子の居場所、小中学生の学習支援（さくら教室・わかば教室）、高齢者の健康づくり（ほっと体操）、レンタルスペースなどを運営しています。平成 28 年には、UR 都市機構が主催し一般住民や地域の関係者が集うラウンドテーブルによって立ち上がった、子どもの居場所「日曜ほっと」を自主事業化しました。

一方で、横浜市旭区は地域と協働し 29 年度から大規模団地の再生に取り組んでいます。その一環として左近山団地では、「大学生入居事業」、「まちづくり方針検討会議」、「ちょこっと応援隊」の事業を立ち上げました。

大学生入居事業は大学生が実際に団地に住みながら地域と交流を深め活動する取組で、平成 29 年 3 月に区と横浜国立大学、UR 都市機構との 3 者協定を締結し、9 月から大学生の入居を開始しました。この事業の主体者は区との市民協働事業（委託型）として「オールさこんやま」が担っています。「オールさこんやま」は旭区の今年度の事業終了後を見据えて、よこはま夢ファンドによる資金調達を進めており、来年度の自主事業化を目指しています。

まちづくり方針検討会議は 29 年度から発足し、主に旧左近山小高小学校の跡地利用を話し合う場として、設置されました。現在は区が運営を担っていますが、地域が主体となり会議を運営する必要があります。

ちょこっと応援隊は、地域住民から提案のあった人材バンクを具体化するため、令和元年に気軽な気持ちで地域活動に参加したいという人たちを発掘するためのアンケートを実施し回答者を対象に活動の方向性についてワークショップを行いました。運営を地域の活動団体に打診しましたが合意に至らず、「オールさこんやま」が運営を担うことを検討しています。

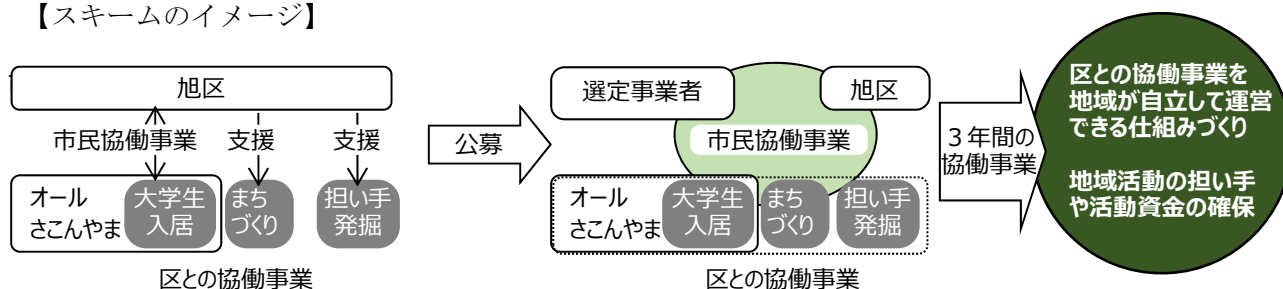
区と地域が協働で立ち上げたこれら 3 つの事業については、今後地域主体の事業として自立化できるかが課題となっていますが、これらの事業を地域が実施することで担い手や活動資金の獲得機会を得られ、当該団体が実施している既存の事業との相乗効果も期待でき、団体の機能強化につながると考えています。

2. 公募の目的

区と地域が協働する団地再生の取組として立ち上がった「大学生入居事業」、「まちづくり方針検討会議」、「ちょこっと応援隊」、(以下「区との協働事業」という)は地域活動の担い手や活動資金を確保することを目的に取り組んでいます。しかしながら、その狙いは現状十分に達成しておらず、運営は区の支援を受けながら「オールさこんやま」が行っています。本公募の目的は区との協働事業が、その狙いを達成し、地域で自立して運営できるような仕組みづくりをすることです。

選定事業者は協働事業として、自身が提案した事業計画書の取組を3年間で試行し、最終年度に公募の目的を達成することとします。

【スキームのイメージ】



3. 公募内容

以下の項目について、提案内容を様式にまとめて提出して下さい

- (1) 市民協働事業提案書（提出様式1）
- (2) 市民協働事業計画書（提出様式2）A4判2ページ以下

区との協働事業の自立化のため事業者が今回提案する3カ年度の事業計画を様式にまとめてください。

なお、令和2年度の選定事業者の取組項目として、以下の（ア）～（ウ）を設定しますがこの項目を変更することも可とします。

- (ア) 令和2年12月末までにちょこっと応援隊が活動団体として始動する
 - (イ) 令和3年1～3月の間で大学生入居事業に参加する大学生の募集を行う
 - (ウ) 令和2年度中に令和3年度の活動資金を確保するため、よこはま夢ファンドの助成金を申請する
- (3) 市民協働事業収支予算書（提出様式3）A4判3ページ以下

4 市民協働の進め方について

選定事業者と旭区、オールさこんやまと3者で市民協働契約を締結し、事業を推進します。

- (1) 令和2年度

委託型の市民協働契約を結び、30万円を区が負担します。

- (2) 令和3・4年度

提案内容を踏まえて事業内容を協議します。そのうえで200万円を上限とし、事業内容を実現するために必要な予算措置を区が行います。ただし、横浜市会において、当該年度の予算案が承認されることが条件です。

5 役割分担

- (1) オールさこんやま
事業主体として、地域の関係団体との調整を行う。
- (2) 選定事業者
オールさこんやまに対して事業の自立化や地域活動の担い手・活動資金の確保等について課題解決策を提案し、その実践をサポートする
- (3) 旭区
選定事業者に対して、横浜国立大学やUR 都市機構、大学生入居事業を支援する専門家とオールさこんやまの関係構築などをサポート

6 添付資料

資料1 オールさこんやまの取組

資料2 左近山地域ちよこっと応援隊アンケート様式

資料3 左近山団地再生に必要な地域の活動支援報告書概要版

資料4 左近山団地における大学生による地域支援活動事業の支援業務委託報告書 (APY 報告)

資料5 応募要項の抜粋、入居大学生募集チラシ

7 公募スケジュール (令和2年)

- (1) 公募開始日
6月5日 (金)
- (2) 質問受付
6月12日 (金) 迄
- (3) 質問回答発送
6月19日 (金) 迄
- (4) 公募締切日
7月15日 (水)
- (5) プレゼンテーション
7月下旬～8月上旬